



ヨーロッパの境界地域に関する研究

[キーワード:境界、地方都市、多様性、社会調査、留学生アドバイザー]
准教授 山口 博史

〈研究の概要〉

これまで次のような場所での調査研究にあたってきました。欧州の研究については、特に境界地域に関心を持っています。

- ・ヨーロッパの境界変動地域(ベルギー、スロヴァキアなど)
- ・日本の地方都市(産業都市、観光地の周辺都市など)

こうした地域での暮らし、人の移動、住民の多様性などについて、グローバルな視点を意識しながら、現地フィールドワークをもとにして実証的な研究を行なっています。

そのほか、これまでの仕事等をきっかけとして、災害に関する研究(大雪、地震)や留学生アドバイザーに関する実践的研究にも取り組むようになっていきます。



ブリュッセル中央駅の二言語表示

〈主要研究業績〉

- ・山口博史(2022)「境界変動地域の社会学に向けて」『地域社会学年報』34号、135-149頁
- ・Kambara, Y. & Hiroshi Yamaguchi (2022) "Higher Education and Ethnic Minority in an Ethnically Diverse Town: Survey Results on Education, Personal Network and Mobility in Komárno" *Eruditio – Educatio* 17(2022/2):3-18.
- ・Nibe.N., M. Nakamura & Hiroshi Yamaguchi (eds.) (2022) *Toyota City in Transition* Springer.
- ・山口博史(2021)「日系ブラジル人の30年を考える一家族と居住地」西原和久(ほか編)『マイノリティ問題から考える社会学・入門—差別をこえるために』有斐閣、100-116頁

〈地域(行政)、NPOや企業と連携・共同研究可能なテーマ〉

- ・地域に関する社会調査(設計、分析のサポート)

専門分野 : 社会学

E-mail: 下記のウェブサイトからご覧ください

HP : <https://researchmap.jp/igrec/>

詳細情報 : <http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/person/371784/profile-ja.html>